

『新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」第2期実行計画実施結果総括』に対する市民意見募集の結果について

市では、新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」第2期実行計画（計画期間：2008～2010年度）の実施結果について、重点戦略プランや施策課題等に関する自己評価やこの評価に対する「政策評価委員会」の検証結果などを8月末に公表し、市民の皆様から意見の募集を行い、その結果を取りまとめましたので、報告いたします。

1 意見募集の概要

(1) 募集期間

平成23年9月1日（木）から10月31日（月）まで

(2) 周知方法

ア 市政だより（9月21日号）

イ 案内チラシ（区役所等で配布）と行政情報コーナーにて冊子を公表（区役所等で配架）

ウ 市ホームページ（「政策評価制度」のページ）

エ 各区の区民会議での意見募集の周知及び冊子の閲覧

(3) 意見提出方法

電子メール、郵送、FAX、持参

2 意見募集の結果等

10名の方から13件の意見が寄せられました。

主な意見としましては、政策評価委員会での検証に関するものや、施策・事務事業に関するものがありました。

(1) 結果一覧

提出者数	意見数			合計
	1 施策・事務事業に関するもの	2 政策評価委員会に関するもの	3 その他意見募集の主旨に沿わないもの	
10人	7件	1件	5件	13件

(注) 意見の提出は、すべて電子メールによるもの。

(2) 意見の要旨及び市の考え方

別紙1のとおり。

(3) 意見募集結果等の公表時期

いただいた御意見等とこれに対する市の考え方については、11月末までに市のホームページで公表する予定です。

項 目	意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
1 施策・事業について（7件）	<p>東日本大震災後、従来の地震・津波災害規模の見直しが必要となり、また大地震襲来の確率も大きくなっている。このため大きなリスクに晒された石油コンビナート基地のこれまでの防災対策も抜本的に且つ早急に見直しが求められると考える。こうした防災対策のコストは膨大なものとなると聞いており、大規模なプロジェクトを中止してでも、予算を防災対策に優先配分することが当然ではないか。また、石油コンビナート基地の防災対策の現状を開示し、市民からの意見を求めるべきではないか。</p>	<p>本市では、津波被害をはじめとする地震被害想定調査の見直しや、石油コンビナート地域を含む臨海部の避難計画の策定等、東日本大震災の発災を受けて課題となった事項について、学識経験者の御意見等をいただきながら、対策を進めております。</p> <p>また、それらの対策に係る経費についても、関係局と調整を図りながら、順次予算化の作業を進めております。</p> <p>石油コンビナート地域の防災対策の現状の開示及び市民からの意見募集については、10月に公表しました東日本大震災にともなう本市臨海部における民間企業の施設状況調査結果等を参考に、検討してまいりたいと存じます。</p>
	<p>競輪、競馬事業を廃止してほしい。</p>	<p>競輪事業は、本市財政への貢献、地域経済の活性化及び雇用の確保という役割を担っておりますので、御理解をくださいますよう、お願いいたします。</p> <p>競馬事業は、平成22年度は35万5千人余の多くの競馬ファンに御来場いただいております、市民の皆様に広く定着しておりますので、併せて御理解くださいますよう、お願いいたします。</p>
	<p>川崎駅東口の整備はまだまだ必要だと思う。 特に競馬場、競輪場について整備を進めてほしい。</p>	<p>競輪場としては「富士見公園との一体感を感じられる空間づくり」と「持続可能な事業運営の確立に向けた施設づくり」という2つのメインコンセプトに基づき再整備を実施してまいります。</p> <p>競馬事業につきましては、お客様の利便性の観点などから必要に応じて検討を進めてまいります。</p>

項 目	意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
	<p>稲毛神社周辺のホームレスについての対策に向けた取組を進めてほしい。</p>	<p>本市におけるホームレス支援については、ホームレスが自立し安定した生活を営むことを目的として、法律及び川崎市の実行計画に基づき、実施しております。</p> <p>具体的には、専門巡回相談員が定期的に個々の野宿生活場所に赴き、健康状態の把握や日常生活の相談を実施し、自立意欲の喚起を図っております。また、川崎市就労自立支援センター等の自立支援施設を設置し、食事・宿所の提供、求職、健康等に関する相談、支援を実施しております。</p> <p>市内のホームレス数は平成 15 年の 1,038 人から、平成 23 年には 598 人まで減少してきておりますが、現状、上記施設や福祉制度の利用を拒む方もいらっしゃいます。</p> <p>今後も、稲毛公園周辺のホームレスをはじめとして、市内ホームレスの方に対し、福祉制度の活用や施設等への誘導を粘り強く行ってまいります。</p>
	<p>新たな性感染症への対策を充実してほしい。</p>	<p>新たな性感染症につきましては、発生动向調査等で市内の感染症発生の状況を確認しております。</p> <p>また、従来からの性感染症への対策につきましては、H I V 検査に加えて、平成 2 2 年から梅毒検査を加えて対応しております。また、イベント検査として年数回クラミジア・肝炎を加えて検査の充実を図っております。</p>
	<p>川崎駅西口と比べ東口は見劣りがする。 是非とも東口の整備をしてほしい。</p>	<p>川崎駅周辺地区において、東地区では商業・業務・文化機能などを中心に、西口地区では都市型住宅や商業、文化施設などを中心に都市機能が集積したまちづくりを進めています。特に川崎駅東口地区周辺では、これまで駅前広場再編整備をはじめとして駅周辺のバリアフリー化を図るとともに、駅東西の回遊性や利便性の向上を図る整備を進めてきました。引き続き、駅東西の回遊性や利便性の一層の向上に向けて整備を進めてまいります。</p>

項 目	意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
	<p>放射性物質測定に関する給食の調査を実施すべき。</p>	<p>本市の小学校給食の統一献立に使用する食材につきましては、「財団法人川崎市学校給食会」により全小学校分の食材を一括して調達しており、その食品の安全性につきまして、厚生労働省等では、流通する食品は、生産地での出荷制限等、様々な措置がとられております。また、神奈川県が実施した県内で生産された食品の放射性物質の検査で暫定規制値を超えていないことなどから、健康に影響を与えるものではないとしています。</p> <p>しかしながら、給食の食材に不安を持つ保護者の方々もいらっしゃることから、これまでにサンプル的に、7月、9月及び10月、11月に放射線量検査を行ったところ、ヨウ素、セシウムのいずれも「不検出」でした。</p> <p>今後も、検査を継続して行き最新の情報を公開することにより、安心・安全な学校給食を提供してまいります。</p>

項 目	意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
<p>2 政策評価委員会について (1件)</p>	<p>担当部局から提示された評価及び達成状況は、現実に施策を実施している立場で判断した結果であることから判断結果を尊重すべきと考える。担当部署が施策の結果を判断する際、何を基準として判断したかは、参考指標の設定の仕方によって分かる。しかし、参考指標は、設定の仕方によって大きく異なった評価となるが、この場合、施策の成果と参考指標の関係を分析することによって、担当者が何を考えて評価したかが判断できると考える。重要なことは、施策の進行管理・評価上、施策の評価結果と参考指標のとらえ方に道筋をつけてあげることであり、矛盾していれば正す必要があると考える。こうしたことは、政策評価委員会の役割であると考えているが、委員会で委員の考え方が大きく異なった結果が出た場合には、担当者から直接考え方を聞くべきではないか。</p>	<p>政策評価委員会は、学識経験者や公募市民委員により構成されており、市が実施した施策評価等について客観的かつ公正な評価手法等に基づいて実施されているか審議し、意見を述べるなどの取組を行っています。この施策評価等では、市民の皆様公表し説明責任を果たしていくためにも、参考指標や具体的な事例を用いることでその成果の把握に努めているところです。施策評価等については、政策評価委員会により検証していただいているところですが、委員会での改善意見を施策の所管局にフィードバックすることで、施策の成果等をより分かりやすく説明できるよう努めるとともに、所管局の改善意見に対する考え方を委員会に示すことで、改善の状況を把握しているところです。また、委員会において委員の考え方が大きく異なった場合につきましては、判定に関する基準を見直すとともに、委員会での審議を踏まえながら、引き続き検討してまいります。</p>